

『 ギュー 』 0歳児(1歳5カ月) 10月



エピソード

「きゅっきゅっきゅっ」の絵本を保育者と一緒に見た後、絵本の内容と同じように保育者がガーゼタオルを取り出し人形の口を拭いて見せると、嬉しそうに保育者がもっていたガーゼタオルを手に取り、机に広げて敷きました。そして、その上に人形を寝かせて人形の布団をかぶせました。「ねんねしたね」と保育者が声をかけるとうなずいて、今度は机を拭いたり椅子を拭いたりとお掃除を始めました。保育者が「タオルお水でジャーって洗う?」「ここにお水あるよ」とままごとの蛇口を指さし知らせると、ガーゼタオルをシンクに入れたり蛇口につけたりしていました。保育者が「絞ってあげる」と声をかけながら手を出すと保育者の手にガーゼタオルを置きました。保育者が「ギュー」と言いながら絞ると、嬉しそうに“返して”と両手を広げたポーズ。そして「ギュー」と言いながら両手に力を入れてガーゼタオルを握っていました。保育者も「ギューってできたね」と喜ぶと「うん」と言っとうなずき、人形の口や畳やプレーマットなどを拭いては、洗いに戻って絞っていました。「きれいになったね」と保育者が声をかけると「うーん」と言っとうなずき満足そうにしていました。

子どもの育ちや学び

- ・小さなガーゼタオル一枚で日常自分がしてもらっていること、お家の人や保育者が生活の中でしていることを本児なりにイメージして遊ぶ姿が見られました。
- ・ままごとのキッチン台の蛇口から実際水が出ているように見立てたり、タオルが濡れているかのように保育者の模倣で握り絞ったりして、ものとの関わりの育ちが見られました。

保育者の思い

「きゅっきゅっきゅっ」の絵本は赤ちゃんともぬいぐるみの動物がスープを食べた時に、手や足にこぼれたスープを拭くという内容で、子どもたちはこの絵本が大好きです。

“この絵本と同じだ”と感じたり人形に興味を持ったり、絵本に出てくる赤ちゃんのように真似をしてお世話をしたりして遊ぶことも楽しんでほしいと思い、保育者がままごとの人形を使って、絵本の内容と同じように「拭いてあげるね」と話しかけながら「きゅっきゅっきゅっ」と口を拭いて見せました。

家庭だったら・・・

- ・小さなタオルを一枚、ままごと用に用意するだけでも喜んで遊んでくれるかもしれませんね。
- ・大好きなお家の人の声で、絵本を読んでもらえると、一つ好きな絵本が増えて絵本に出てくる言葉を聞いたり真似たりして発語につながるかもしれません。